

現場到着時間の短縮

正確な情報把握と迅速な指令伝達により、
現場到着までの時間短縮や最適な消防活動を実現します。

予告指令

119番通報の内容を照会している間に音声合成により予告指令を行います。



音声合成装置

予告指令、出動指令等の内容を自動的に音声合成して、即時に関係部門・車両に送信します。指令員は会話をしながら指令をかけることができます。通報から出動までの特約の短縮が図れます。

119番通報の受付とシステムの流れ

通報



1

通報受付

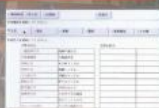
市内からの119番通報は全て消防本部にある通信指令室につながります。通報が入ると、指令台の画面に通報の付近地図と住所情報が表示されます。



2

災害種別の決定

通報内容を元に、災害の種類(火災、救急、救助等)を決定します。



3

災害発生地点の特定

通報された場所を、住所や付近の目標(建物・公園・池など)といった情報をもとに特定します。



4

出動隊の編成

事前の予告指令により消防隊、救急隊等が出動準備を進める間に、災害の規模や内容に応じて出動する部隊編成を行います。



●出動車両運用管理装置

消防車や救急車に車両運用用天頂装置を搭載し、GPS(測位衛星)を活用して、リアルタイムに車両の位置・活動状況を常時監視します。災害地点特定と同時に災害現場に最も近い位置の救急車両を選択し、出動隊を自動的に編成することが可能です。

5

出動指令

出動隊の編成後、自動的にコンピュータ音声やEメール、指令書などで指令内容を出動隊に伝えます。



6

出動

出動車両の車載端末に災害発生地点の地図や内容、最短ルート情報が表示され、い早く災害現場に急行します。



7

現場活動

災害現場状況を常に通信指令室・現場隊員間で共有し、的確な指示のもと迅速な現場活動を行います。

